

社団法人全国結核予防婦人団体連絡協議会

平成21年度事業報告書

(平成21年1月1日～12月31日)

本年度計画した事業の概要は、次のとおりである。

1. 第60回結核予防全国大会の後援と本会定時総会の開催

結核予防会主催の第60回結核予防全国大会を後援した。

また大会の一環行事として、本会の平成21年度第1回・第2回理事会ならびに定時総会を開催した。

なお、本協議会関連の主なる行事は次のとおりである。

- (1) 第1日 3月17日(火) ホテルニューオータニ
- イ. 全国結核予防婦人団体連絡協議会平成21年度第1回理事会
椿の間 10:00～10:30
 - ロ. 全国結核予防婦人団体連絡協議会定時総会
舞の間 10:40～11:40
 - ハ. 全国結核予防婦人団体連絡協議会平成21年度第2回理事会
椿の間 11:45～12:10
 - ニ. 懇談会
舞の間 17:00～17:45
 - ホ. 記念写真撮影
写真室 18:05～18:08
 - ヘ. 大会歓迎レセプション
芙蓉の間 18:30～20:00
 - ト. 研鑽集会 セッションI「人形劇」
会場: 鶴の間 13:30～15:00
主 題: 結核のない世界へー罹患率100万対1をめざしてー
司 会: 小林 典子
 - チ. 研鑽集会 セッションII「パネルディスカッション」
会場: 鶴の間 15:15～16:45
主 題: パートナーシップ!!
司 会: 尾身 茂
永田 容子(アシスタント)
 - リ. 大会決議・宣言起草委員会
椿の間 17:00～18:00

【第2日】 3月18日 (水)

特別講演 「結核と文学の世界」
演者：辻井 喬

鶴の間

10:00~10:50

大会式典

鶴の間

11:10~12:30

式次第

- (1) 開会のことば 財団法人結核予防会理事長 仲村 英一
- (2) 東京都知事あいさつ 東京都福祉部 山口 一久
- (3) 結核予防会会長あいさつ 財団法人結核予防会会長 青木 正和
- (4) 秩父宮妃記念結核予防功労賞第12回受賞者表彰
- (5) 天皇陛下おことば
- (6) 来賓祝辞 厚生労働大臣
外務省
社団法人日本医師会会長
社団法人全国結核予防婦人団体連絡協議会会長
- (7) 議事
 - ①議長および副議長選出
 - ②全国支部長会議および研鑽集会報告
 - ③決議および宣言
 - ④次期開催地決定・あいさつ
- (8) 閉会のことば 財団法人結核予防会常任理事 長田 功

2. 結核予防関係婦人団体幹部研修会の開催

結核予防関係婦人団体中央講習会を結核予防会との共催により開催した。

地区別結核予防婦人団体幹部研修会を、開催地区結核予防会各支部と地元婦人会との共催のもとに開催した。

結核予防を中心とした公衆衛生知識の向上と、各参加団体会員相互の交流を目的として実施した。

(1) 結核予防関係婦人団体中央講習会

期 日： 平成21年2月18日(水)~19日(木)

場 所： こまばエミナース(目黒)

参加人数： 109名

(2) 地区別結核予防婦人団体幹部研修会(5地区)

- イ. 北海道地区 (北海道) 7月10日・11日
- ロ. 東北地区 (宮城県) 11月12日・13日
- ハ. 関東甲信越地区 (新潟県) 9月17日
- ニ. 中国四国地区 (愛媛県) 9月3日・4日
- ホ. 九州地区 (福岡県) 11月12日・13日

3. 結核予防週間の主催

厚生労働省、都道府県、政令市、特別区、結核予防会、日本医師会、健康・体力づくり事業財団並びに本会主催で、平成21年9月24日～30日に実施する。本週間中には、各地域において全国一斉複十字シール運動キャンペーンをはじめとする各種の行事を行うとともに、結核予防への関心を高めた。

4. 教育広報誌「健康の輪」の発行

結核及び公衆衛生全般の知識の向上と会員相互の連携を深める目的で発行しているものであるが、21年度も3月、7月、11月にそれぞれNo.95、No.96、No.97を発行配布した。

A4版 10頁 1回につき33,000部発行

5. 複十字シール運動の後援、実施

結核予防会主催、厚生労働省・文部科学省及び本会後援により実施されている本運動に参加し、結核予防の教育広報並びに資金造成に努めた。

具体的には、以下の2事業を実施した。

- (1) 複十字シール運動開始日(8月1日)を中心として、結核予防会本部役員と本協議会会長が厚生労働大臣室を、結核予防会各都道府県支部幹部職員と本協議会各都道府県の会長が各知事室を訪問し、全国及び地域の結核の現状を報告することにより、複十字シール募金運動の意義を理解していただき、各自治体から結核予防思想について広く一般に伝え、一層の普及を図っていただくよう依頼した。
- (2) 結核予防週間の初日(平成21年9月24日)を中心として全国一斉複十字シール運動キャンペーンを、結核予防会各都道府県支部との協力の下に実施し、本運動及び結核予防の普及啓発を図った。

6. 普及広報資材の製作

全国一斉複十字シール運動キャンペーン用資材を作成した。

7. 国際協力

結核予防会が行っている国際協力事業を進めるにあたっては、複十字シール募金を通じて資金造成に協力した。その一環としての結核対策スタディツアーへの会員の参加を推薦した。

また、結核予防会国際部が行う教育資材等に対する、資金援助を行う。

期日 平成21年11月下旬 7泊8日

訪問地 カンボジア(催行人数に満たなかったことにより中止)

参加者 募集10名

8. 世界結核デー

3月24日はWHOが制定した「世界結核デー」である。その周知についての広報活動を行った。

9. ストップ結核パートナーシップ日本の後援

国内の結核対策を充実させ、結核低まん延国化を図る。またこれまでの知見を生かして結核対策が多い地域への支援を充実させる。このため、行政機関、研究機関、市民社会、

民間企業などの多様なセクターで構成された連合体を組織し、加盟団体は協調して政治的支援、住民参加を得て日本と世界の結核対策を推進させる。この目的に賛同し、後援した。

10. 生活習慣病予防対策の後援

これまでの僻地・離島を含めた全国津々浦々で結核健診と保健指導を一体として行ってきた経験と実績をこれからの生活習慣病対策に活かすべく、健診と保健指導を中心とするJATA健康ネットワーク事業を予防会本部支部が組織を挙げて推進している。

今日的国民病となった生活習慣病対策を取り組む結核予防会を支援し、生活習慣病予防対策を国民運動に高めるよう取り組んだ。

11. 女性の健康週間の協力

厚生労働省、日本産婦人科医会、日本産科婦人科学会主唱。本会は協力関係団体として取り組む。3月1日～8日に実施する（ただし、地域の実情による期間延長等の変更は差し支えない）。本週中には、女性の健康に関する知識の向上と、女性を取り巻く健康課題に対する社会的関心の喚起を図るため、各種の啓発事業及び行事等を展開した。

12. 会議の開催

(1) 定時総会

期日 平成21年3月17日（火） 10:40～11:40
場所 ホテルニューオータニ
議案 平成20年度事業報告 並びに収支決算 について
平成21年度事業計画（案）並びに収支予算（案）について

(2) 理事会

第1回

期日 平成21年3月17日（火） 10:00～10:30
場所 ホテルニューオータニ 椿の間
議案 平成20年度事業報告 並びに収支決算 について

第2回

期日 平成21年3月17日（火） 11:45～12:10
場所 ホテルニューオータニ 椿の間
議案 役員を選任について

第3回

期日 平成21年12月11日（金） 11:00～15:00
場所 結核予防会 5階 会議室
議案 平成22年度事業計画（案）について
平成22年度収支予算（案）について

【参考】

会計監査

期日 平成22年3月17日
場所 ホテルニューオータニ鳥取
監事 神田 アヤ子、藤本 貴子
内容 平成21年度収支決算